

クロカナブン *Rhomborrhina polita* Waterhouse

【選定理由】

かつて東三河地方を中心に広く分布し、アベマキの樹液などに多くの個体が観察されたが、近年発見がやや困難になってきていることから、個体数が減少しているものと推測される。

【形態】

体長 25.6～32.6mm。全身漆黒。頭楯は皮革状で点刻は密。前胸背板にはほとんど点刻が無く、上翅は浅く細かい点刻を散布する。中胸突起は幅よりやや弱く、先端はやや拡大して裁断状。後脛節内側の毛は赤褐色。

【分布の概要】

【県内の分布】

設楽町、新城市、豊川市、豊橋市、豊田市、岡崎市、蒲郡市などの丘陵地から山地に分布している。

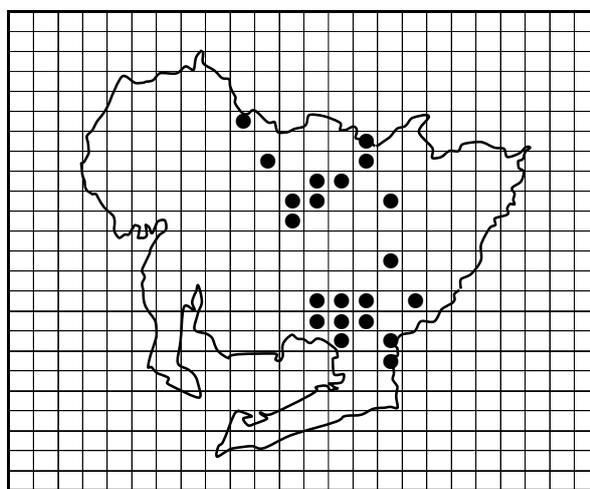
【国内の分布】

本州、四国、九州。

【世界の分布】

日本の固有種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

丘陵地から山地にかけて生息し、あまり高標高地には生息しない。成虫の出現は、7月～9月初め、カナブンやアオカナブンより出現がやや遅い。日中活発に活動し、アベマキ、コナラなどの樹液の他、花や熟した果実にも集まる。幼虫は、朽ちた倒木の中から発見される。

【現在の生息状況／減少の要因】

現在では、かつて多産した豊田市や豊橋市、岡崎市などで発見が困難になってきている。はっきりした減少の要因は不明であるが、里山の雑木林の荒廃、森林の乾燥化などによる影響が背景にあると推測される。

【保全上の留意点】

宅地開発や里山雑木林の荒廃を防ぐ手だてが必要であろう。今後とも詳細な調査の継続と、生活史の解明などを進め、減少の要因を探る必要がある。

【関連文献】

- 松野更一・伴 憲隆・穂積敏文, 1990. 愛知県のコガネムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 339-361. 愛知県.
酒井 香・藤岡昌介, 2007. 日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群 1: 88. 昆虫文献六本脚.
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録: 112. コガネムシ研究会.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)